

情報資産管理をするための 情報システム部門の あり方

第5分科会
Cグループ

課題

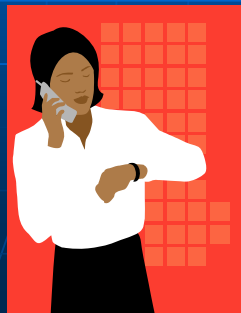
- 人材不足・時間が不足
- 人材育成
- 業務知識・ノウハウ蓄積
- マネジメントについて
- コストダウン



人材不足・時間不足

アウトソーシング

- 出せるもの
 - サーバ管理
 - ネットワーク管理
 - ヘルプデスク
 - 障害きり分け(初期切り分け)
 - ドキュメント作成
- 出せないもの
 - セキュリティ上外部委託できないもの(入試など)
 - ノウハウを自学で蓄積したいもの



人材育成

- 自分たちを振り返って
 - IT業界からの転職(即戦力)
 - 大学に入職して研修・OJTで習得(育成型)
- 今後について、
 - 自己研鑽
 - 最新技術の情報収集
 - 他大学との横のつながり
 - 企業の講習、セミナーなど



業務知識・ノウハウ蓄積

- 現場の部門の業務ノウハウの蓄積
 - 部門の業務を分かると、システム導入の際に良い
- 蓄積するために、
 - 業務マニュアル、業務フロー作成
 - 現場からヒアリング
 - 人材交流、期限付きで担当部署の人材を受け入れと、他部署に出向。



マネジメントについて

- 情報部門が知らないうちにシステム導入
 - 情報部門に必ず相談してほしい(発案者が連絡、財務から連絡などルール化が必要ではないか)
 - 導入後に改修は、費用と時間がかかる
- より良くマネジメントするためには、
 - 普段からコミュニケーションを密にする
 - 職員、業者との現場間のギャップを埋めるのも、情報部門の仕事であると認識する
- コンサルティング業者の活用
 - 人事異動や引き抜きなどの場合



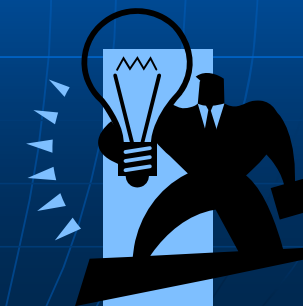
コストダウン

- より低コストなものを調査
- 業者との値引き交渉
- 長期的な計画によるコスト削減
- 標準化、システムの統合化
- 他大学とのコンテンツの共同利用
- 補助金採択を視野に入れたシステム開発



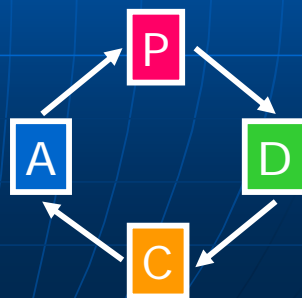
解説

- アウトソーシングは、人材の採用・育成に比べると、長期的な視点で見るとコストダウンに繋がる



最後に

- 本来の情報資産の活用、マネジメントに取り組む
- 各大学の環境によって、採用できる解決策を適宜選択し、PDCAに取り組む



終わり

ご清聴ありがとうございました。

